

袖ヶ浦健康づくり支援センターの利活用に向けたサウンディング型市場調査実施結果

本施設の今後のあり方を検討する一環として、本施設全体の市場性の有無や活用のアイデアを広く聴くことにより、敷地や立地を活かした新規の事業展開の可能性の有無を探ることを目的として、民間事業者との対話の場を設けるサウンディング型市場調査（以下「サウンディング」という。）への参加を呼び掛けたところ、1事業者様から申込があり、意見交換を実施いたしました。

いただいたご意見・ご提案につきましては、袖ヶ浦健康づくり支援センターの利活用の検討に向けた参考にさせていただきます。

1 サウンディングの経過

事 項	日 程
①実施要領の公開	10月11日（金）
②現地見学会受付	10月11日（金）～10月30日（水）
③現地見学会開催	11月18日（月）
④サウンディング参加受付	10月11日（金）～12月25日（水）
⑤サウンディングの実施	1月15日（水）

2 活用アイデアの概要

- ・現在の健康増進施設としての事業を継続
- ・安価なシニア料金の強みを活かしシニア層を確保しつつ、年齢問わず参加可能な教室の展開推進による、利用者層の拡大。
- ・体力測定結果などの市民へのフィードバックによる施設有効性のPR。
- ・要支援・要介護認定者の使用料無料を活かし、介護サービスと当該施設の併用啓発。
- ・安価である使用料金、受講料金設定の見直し。

3 各項目に係る意見・提案等

（1）周辺地域との連携や効果

- ・施設内に公民館で活動する市民団体・サークルを紹介する「地域交流コーナー」を設置。
- ・公民館広報紙に健康ワンポイント情報を掲載。
- ・市イベントでの健康チェック測定会の実施。
- ・旬の野菜を使った料理のレシピ紹介、施設内における直売所の出張販売。

（2）事業の実施方法

- ・立地、周辺環境から、公設民営が望ましい。

（3）指定避難所・指定暑熱避難施設機能の維持の可能性

- ・可能

（4）行政へ期待することや要望事項等

- ・指定管理者制度や業務委託が望ましい。
- ・送迎バス運行や駐車場無料等の現行サービスは継続が必要。